

Vol. 37
March
2023

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

Topics

カンボジア国のJDS 留学生、今年1月開催の
ASEAN常駐代表委員会（CPR）に出席

JDS留学生が上ノ原小学校で講義しました

日本語能力試験合格者へのインタビュー

世界の朝ごはん：ウクライナ



JDS The Project for
Human Resource Development
Scholarship by Japanese Grant Aid



表紙：ウズベキスタン_ブハラのカレーンミナレット

カンボジア国のJDS 留学生 今年1月開催のASEAN常駐代表委員会(CPR)に出席

66



ASEAN常駐代表委員会にて。Noy Choumneanh氏(カンボジア)は右から2番目

出典: Facebook of the Permanent Mission of the Kingdom of Cambodia to ASEAN
(<https://www.facebook.com/photo/?fbid=165763049503233&set=a.139753645437507>)

2023年1月16日、ASEAN常駐代表委員会(CPR)の開会式と会合がASEAN事務局で開催されました。開会式では、2023年1月にASEAN事務総長に就任したKao Kim Hourn氏(カンボジア)が、CPRの役割と責任及びASEAN共同体の構築への貢献について述べました。

当会合に、Noy Choumneanh臨時代理大使が、カンボジア政府の常駐代表として出席しました。Noy Choumneanh氏は2005年よりJDS留学し、新潟県に拠点をおく国際大学国際関係学研究科にて研究しました。修士号取得後は、母国の外務国際協力省に戻り活躍しています。

2023年は、日本ASEAN友好協力50周年を記念する節目となる年です。また、日カンボジア外交関係樹立70周年記念の年でもあります。同氏の更なる活躍が期待されます。

常駐代表委員会(CPR)

CPRの任務はASEAN憲章(第12条)に規定があり、ASEAN共同体理事会及びASEAN分野別大臣機構の任務を支援(ASEAN首脳会議に提出する報告書や勧告の作成支援等)、ASEAN国家事務局及びその他ASEAN分野別大臣機構と連携(各加盟国に設置されたASEAN国家事務局との連絡チャンネルとしての機能等)、外部のパートナーとのASEAN協力を促進(ASEANと域外国との協力基金(日ASEAN統合基金(JAIF)等)によるプロジェクトの検討・承認等)等を担っている。

出典: https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asean/page25_001325.html

JDS留学生在上ノ原小学校で国際理解のための講義をしました



Natsagdorj Batjin氏(モンゴル)

2022年12月15日、東京都国際交流コンシェルジュの依頼により国際理解講座での講義をするために、モンゴルとケニアのJDS留学生2名が調布市の上ノ原小学校を訪問しました。

留学生2名は、講座を通して4年生の児童を対象に母国の食べ物や挨拶、動植物等を英語で紹介し、交流を深めました。

児童たちは、次々とスクリーンに映るモンゴルの恐竜のイラストやケニアの料理の写真等を見て歓声をあげたり、英語での説明にじっと聞き入ったりしていました。また、勇気を出して英語で質問をしたり、留学生に折り紙相撲を教えたりと、双方にとって新しい学びの機会となりました。授業の最後には、児童から留学生へお正月の歌と折り紙がプレゼントされました。

留学生たちは「子どもたちが積極的に質問する姿勢に感動した」と笑顔で語り、貴重な交流の機会となりました。



Lotam Zipporah Chepoghon氏(ケニア)

～東京都国際交流コンシェルジュの紹介～

東京都教育委員会は、都内の公立学校が、幅広く、自校に合った国際交流を実施できるよう、交流先となる海外の学校の情報提供や、相談対応、先方との外国語等による交渉支援などのマッチング等について、ワンストップで支援を行う「東京都国際交流コンシェルジュ」を、平成30年10月に開設しました。

出典:<https://www.tiec-edu.metro.tokyo.jp/>

日本語能力試験(JLPT)に 20名のJDS留学生在が合格しました！

2022年4月よりJICEはJDS留学生の日本語能力試験受験の奨励制度を開始しましたが、2022年度に多くの留学生在が試験にチャレンジし、合計20名の留学生在が合格しました。

スリランカ出身のBasnayake Mudiyansele Diani Nimanthika Abeyrathne氏もその一人です。

日本語の美しい言葉に魅了されただけでなく、母国語であるシンハラ語に文法構造が似ていることを発見し、日本語の勉強を始めたそうです。

チャンスがあればJICAスリランカ事務所が実施している開発支援プロジェクトに参加し、自分の日本語を活かしてプロジェクトでの交流を深めていきたいそうです。得意の日本語を生かして、二国間関係強化のための活躍に期待が高まります。



日本語能力試験(JLPT)N4に合格した
Basnayake Mudiyansele Diani
Nimanthika Abeyrathne氏(スリランカ)
(東京大学大学院 工学系研究科)



今回は、ウクライナのキーウでJDS準備調査の現地調査を行っているシニアコンサルタントのタラス・ペパさんによる朝ごはんの紹介です。ウクライナの主食はパン。野菜料理も多く、あの有名なボルシチも実はウクライナ発祥で、なんと50種類以上ものレシピが受け継がれ、各家庭で食されているそうです。

シルニキ

カッテージチーズに卵を加え、丸く形を整えて黄金色に焼いたカッテージチーズのお焼きです。通常、スメタナといわれるサワークリームをかけて頂きます。夏に採れたベリーやアブリコットのジャム、はちみつをトッピングしても美味。塩味の味付けもありますが、おいしさの決め手はズバリ「カッテージチーズ」。スーパーで売られているものでも良いのですが、市場でおばあさん自家製のチーズを購入して作ってみると、きっとそのおいしさに驚くはず。シンプルながら大地の恵みを頂ける、子供だけでなく大人にも愛される一品です。



出典:TV24([Рецепт сирників, який завжди виходять - Останні новини - 24 Канал \(24tv.ua\)](#))



出典:Unian Light([Млинці на другий день - як зберегти млинці смачними і свіжими - УНІАН \(unian.ua\)](#))

ムリンツィ

いわゆるクレープですが、お食事系からスイーツ系まで様々な具をトッピングできるのが魅力。キリスト教の復活祭を控えた断食期間を前に、最後の乳製品の食べ納めとなる2月の「バター祭り」では、一週間、毎日ムリンツィを焼いて親しい友人達と食する習慣があります。この期間は、屋台はもちろん、レストランでもムリンツィの特別メニューが提供されます。卵の黄色とクレープの丸い形が太陽をイメージした、春を呼ぶ昔からのラッキーフードなのだそうです。カッテージチーズ、サーモン、キノコ、お肉、イクラ、はちみつ、ジャム、さて今日は何で頂くか。楽しみで毎朝迷ってしまいそうですね。

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

5,410名 21カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2021年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

＜事業実施国＞※受入人数順

ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピン、ウズベキスタン、モンゴル、キルギス、パキスタン、スリランカ、ネパール、ガーナ、ブータン、東ティモール、タジキスタン、ケニア、エルサルバドル、モルディブ

※中国は2021年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本では専門知識を身に付け帰国した留学生は、日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画（JDS）は無償資金協力によるJICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News（JNN）をお読みいただき、ありがとうございます。

2022年度からの日本語研修の充実という強力な追い風を受けて日本語能力試験受験の奨励制度を開始したところ、2022年度だけで20名が受験して合格するという嬉しいニュースを聞くことができました。

日本で修士号・博士号を取得して帰国後も、得意の日本語を活かして、現地の日本関係者や留学中に知り合った日本人関係者との交流を続けて更に関係を深めてもらいたいと願うばかりです。

JDS事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.pr@jice.org